

○ 糖尿病オーダーメイド医療研究会

大阪大学大学院 医学系研究科 内分泌・代謝内科学 助教授 山崎義光 ごあいさつ



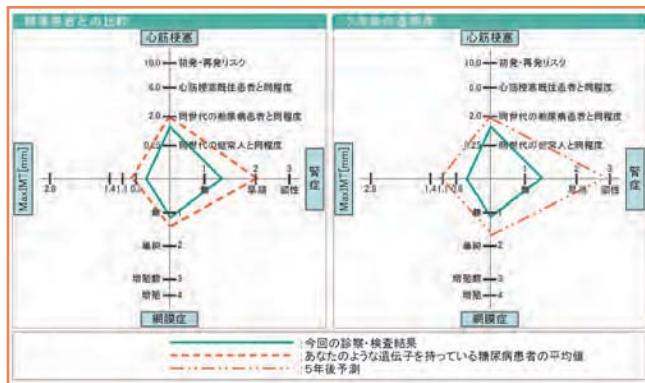
データ収集にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。おかげさまで昨年3月から半年という短期間に、全国で3925名の方々からご協力をいただきました。皆様のご協力に紙面をお借りして心より御礼申し上げます。

ご提供いただいた血液は、現在、東洋紡ジーンアナリシスにて順調に解析作業を進めております。これらの結果と生活習慣の指標となるデータを併せ、糖尿病合併症リスク判定した報告書(左下図)と、皆様の生活習慣をより良くする遺伝子情報(右下図)等を、6月頃から順次、各病院の先生方を通じてお一人お一人にご返却させていただきます。

今後とも皆様の糖尿病合併症の発症・進展を未然に防ぐ医療を目指し、診察に活かしてゆけるよう研究を進めてまいります。

○ 結果報告書イメージ

【合併症リスク】



同程度の患者さんとの比較や、合併症になる危険性をグラフで示します。

【遺伝子情報】

遺伝子名	知られている情報	対応方法	有病率 (日本人/2000名)
b3AR (Trp84Arg)	BMIが高く、インスリン抵抗性を示し、太りやすい	食事制限200kcal減	72%(720/1000)
ENOS786	インスリンが効きにくい	薬物が望ましい	30%(300/1000)
IRS-1	インスリンが効きにくい	運動が有効	3%(234/3000)
UCP2(-866G/A)	インスリンが効きにくい	運動が有効	92%(2769/3000)

皆様の生活習慣をより良くする遺伝子情報。

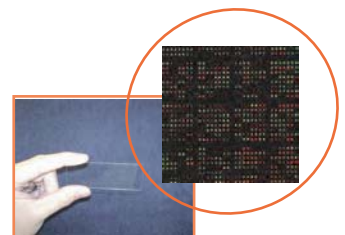
Topics

遺伝子はどうやって調べるの? ~DNAチップについて~

DNAチップは一人一人の遺伝子情報(遺伝子多型といいます)の違いを明らかにするために開発されたもので、ガラスの薄い板に人工的に作った遺伝子の断片を特殊技術で塗って作ります。

当研究会では、大阪大学大学院医学系研究科の山崎義光助教授と東洋紡績株式会社が共同開発したDNAチップを使用し、患者の皆様からご提供いただいた血液から抽出したDNAから、遺伝子情報を取得します。

この遺伝子情報と生活習慣の指標となるデータから、皆様の糖尿病合併症の「かかりやすさ」と「すすみややすさ」を予測します。



DNAチップ

○ 事務局からのお知らせ

○ 第2回研究会ご参加の先生方へ

4月15日(土)横浜にて第2回研究会を開催します。当日は研究進捗状況等についてご報告させていただきます。

メンバーの先生方にはご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

○ 当研究会の体制について

より公共性を持った形で研究を進める体制を整えるべく、「特定非営利法人 オーダーメイド医療研究会」設立のための申請書を、昨年10月、大阪府に提出しました。5月頃には認可される見通しです。

糖尿病オーダーメイド医療研究会 事務局

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2 (A8)
大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座 糖尿病研究室
TEL:06-6879-3633 FAX:06-6879-3639